

活動レポート

日本技術士会北海道本部 社会活動委員会

技術者のミライ研究委員会

文責：技術者のミライ研究委員会 幹事長 千葉 裕

令和7年度 第1弾の講演会です。 「技術士を知ろう！ in 北海道科学大学」

1. はじめに

「技術者のミライ研究委員会」(ミライ研)にて運営等を担当している「技術士を知ろう！」ですが、2025年度の活動第1弾は、2016年度から講演を行っている北海道科学大学(北科大)にて実施しました。今回も青年技術士交流委員会(青技交)の連携・協力を得て実施しています。

2. 実施概要

開催日時：2025.5.29(木) 13:00～14:30

講義内容：技術士について

技術士の仕事内容と役割(講演2編)

土木全般の仕事紹介

対象者：都市環境学科 1年生 計38名

参加幹事：小澤、木本、寺西、密山、千葉(記)(ミライ研5名)。笹森(青技交1名)。

北科大での講演は、都市環境学科の細川先生・松田先生の力強いバックアップがあって、これまで実施できています。今回の開催にあたっては、当方から北科大(旧道工大)OBを中心とした講演者で構成したいと要望したところ、快諾して頂きました。

3. 技術士について

北科大でのこのパートは、小澤代表の専売特許！？だったのですが、今回は同校OBかつミライ研の重鎮でもある寺西の兄貴にお願いしました。

事前のプレゼンmtgでは、無理に小澤色を引き継ごうとしたせいか、らしさが出なかったのですが、そこは重鎮です。本番では兄貴らしさ全開で、技術士の役割、資格取得方法、持つことのメリット、社会人になってから仕事をする上での資格取得の重要性等について説明を行ってくれました。



写真-1 マイクの扱いに重鎮感が出てしまう寺西技術士

4. 技術士の仕事内容と役割

(1) 技術士の仕事(笹森技術士)

続いてもOBで、(株)エコテックに勤務する笹森技術士から、「河川の仕事」と題して講演を行いました。「チュウヒの保全と草刈り」というトレードオフの課題について、ミティゲーションの3段階の特徴を踏まえ、4番目の選択肢として『馴化』に取り組んだ課題解決方法を紹介。難しい専門用語も学生に理解しやすいように、写真や図を基にした丁寧な説明を行いました。

笹森技術士の芯は、「大自然の北海道で、川に学び、自然に学び、明日の世代に自信を持ってつないでいける川づくり」とであると語り、最後にOBとして「おもしろいと思ったことをどんどんやってみて」とメッセージを送っていました。



写真-2 “河川×環境”を語る笹森技術士(青技交 幹事)

(2) 技術士の仕事(密山技術士)

続いて北科大(旧道工大卒)OBで、ダイシン設計(株)に勤務する密山技術士から、コンサル(橋のメンテナンス)の仕事の講演を行いました。

橋の補修設計に関し、マニュアルに無い、自身が経験した課題解決方法を紹介、専門用語も事例写真や図・表を基にした丁寧な説明を行いました。

学生たちからの質問では、密山さんが少し困るほど講演内容に関して突っ込んだ質問が寄せられていました。ひょっとすると学生たちの今後の選択肢として、橋梁関係の仕事を選ぶ人が多く誕生するかもしれません。



写真-3 橋を熱く語る密山技術士(ミライ研 幹事)

5. 土木の仕事全般の紹介

講演最後は、(株)ドーコンに勤務する木本技術士から土木や建築の業界全般を対象に2人の講演で紹介しきれなかった様々な仕事を写真で紹介。

入学間もない学生達向けに、北海道内の施設事例等を用いて様々な仕事があることを知ってもらおうと用意してくれました。

実は木本技術士は、昨年に引き続き後期の授業から北科大1年生の非常勤講師を担当(「土木と環境」)することになっております。最後に学生達との再会を約束していました。



写真-4 今年も非常勤講師を兼ねる木本技術士

6. 質疑応答

筆者の進行で参加メンバーが学生からの質問に回答する質疑応答では、笹森さんに向けて「河川計画設計で最も難しかった課題とその対策を教えてください」、「楽しいと思える仕事になっていますか」。密山さんに向けては「橋梁技術において、日本ならではの課題や強みは何だと思いますか」、「なぜ橋梁の仕事に就こうと思ったのでしょうか」といった、今後の就職活動に直結するような質問や、実際の仕事内容に関する質問も多く寄せられました。



写真-5 学生達からの質問に答える先輩達

7. まとめ

学生達からの感想には「みなさんの話を聞いて、やっぱり土木ってすごいなと、すごい感じました。それを学んでいると思うと、なんか、自信持てます。がんばれます」、「土木というのはとても奥が深い。色々な楽しみが増えました」といった意見がありました。また、「キャリアの幅を広げることで以外にも、沢山のメリットがあって将来自分のために取得を検討するのもありだと思えが変わった」、「今回の講演を聞いて、技術士資格をとることが難しいことがわかった。だが、その分の見返りも多いことがわかった。なので資格を取りたいと思える良い機会になりました」等の技術士取得の動機となるようなキーワードが多くありました。

アンケートでは、有効回答数35人中28人が「技術士を今回初めて知った」「名前だけは知っていた」等だったのに対し、37人中34人が「将来技術士を取得したい」と回答してくれていました。同アンケートの5段階評価では、今回講演の「わかりやすさ」が4.5、「満足度」が4.6と高評価をいただきました。次の講演もご期待下さい。笑